

「四国吉野川の水をつなぐ」水資源機構トピックス

# 国土交通省から柳瀬ダムの管理を 水資源機構が受託し業務を開始

令和3年4月1日



水資源機構が管理をする「柳瀬ダム」



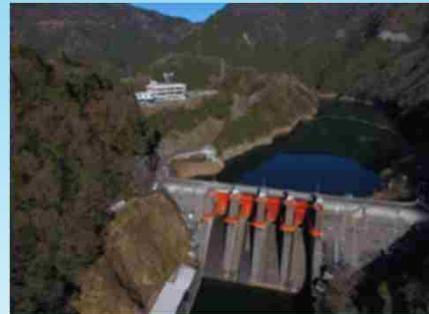
柳瀬ダム管理支所（国土交通省組織）はなくなり、柳瀬ダム管理庁舎に表示が改まりました



柳瀬ダムの上流「富郷ダム」



柳瀬ダムの貯水池「金砂湖」



柳瀬ダムの下流「新宮ダム」

吉野川最長の支流「銅山川」には、製紙業が盛んな愛媛県四国中央市の産業や生活を支え、流域の洪水被害を軽減するため、富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダムの3つのダムがあります。

「柳瀬ダム」は、国が建設し昭和29年（1954年）からこれまで国土交通省が管理していましたが、令和3年4月から水資源機構がダムの管理を受託しました。

水資源機構が管理する柳瀬ダム上流の富郷ダム、下流の新宮ダムとともに、これまでのダム管理の経験を活かしつつ、より連携を強化して合理的な管理運営を行ってまいります。

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構